



大気汚染防止への取り組み

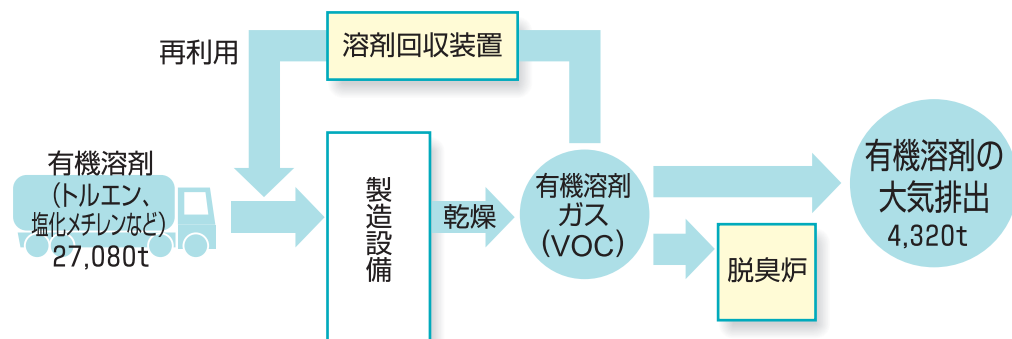
有機溶剤の削減

日東電工の基幹事業である粘着テープの生産では、さまざまな有機溶剤を使用します。そこで当社では、有機溶剤を使用しない製品の開発と、製造工程で揮発する有機溶剤の排出抑制に取り組んでいます。これまでに、さまざまな無溶剤型粘着テープの開発、溶剤回収装置や脱臭炉(有機溶剤ガスの燃焼処

理装置)の設置などにより、排出量は大幅に削減されました。当社は、溶剤削減技術を研究開発の最優先課題と位置づけており、粘着テープ研究センターを中心に無溶剤型製品の開発に力を注いでいます。

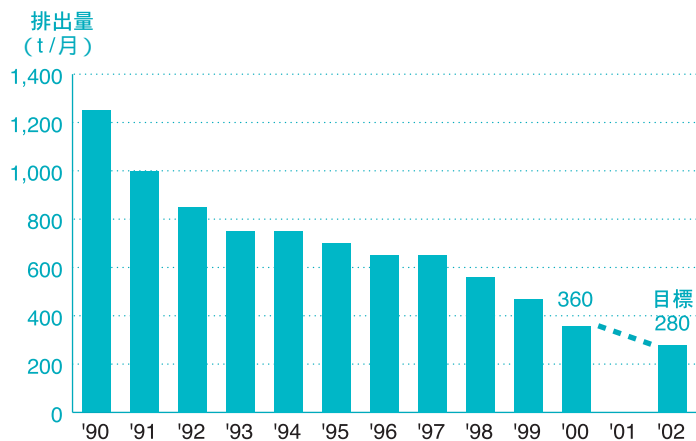
有機溶剤フロー

日東電工で使用する有機溶剤は、製造設備の乾燥工程でほぼ全量が揮発します。当社はそれらの排出抑制に努め、2000年度の大気への排出量は4,320tでした。



有機溶剤の排出量

クラフトテープをはじめとする無溶剤型粘着テープの比率が増えてきたことや、溶剤回収装置の回収率向上などの効果により、排出量は減少しています。



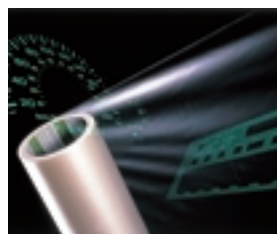
無溶剤型粘着テープの技術開発

製品の用途に応じて最適な無溶剤型粘着テープを開発するために、当社は次の5つのテーマで技術開発を進めています。

- ・溶剤の代わりに水を使用するエマルジョン型粘着剤
- ・シート状に塗布して重合するUV重合型粘着剤
- ・熱溶解型のホットメルト型粘着剤
- ・ポリマーが高温で軟化する性質を利用する固形粘着剤
- ・溶剤の含有量を削減したハイソリッド型粘着剤



■両面接着テープ

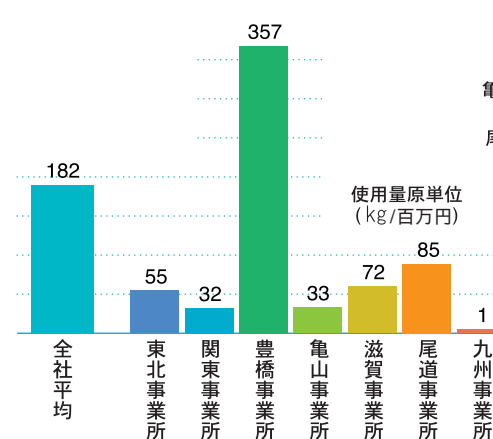


■表面保護フィルム

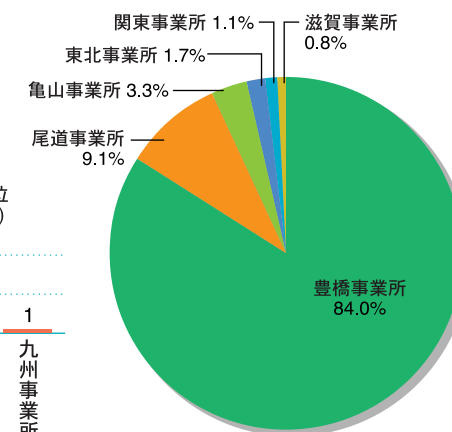
事業所ごとの比較 (2000年度)

豊橋事業所の使用量原単位は、昨年の371から357に減少しました。これはクラフトテープのホットメルト化や溶剤回収装置の回収率向上などが、寄与したものです。

■各事業所の生産高百万円当たりの有機溶剤使用量



■有機溶剤使用量の比較



PRTRへの取り組み

日東電工は、有害化学物質の使用量・排出量削減のため、1997年度からPRTR(化学物質排出・移動登録)に取り組んでいます。環境省のパイロット事業で対象となったPRTR対象の354物質中、2000年度には63物質を取り扱っており、26物質を大気中に排出

していました。1998年度にトリクロロエチレン、1999年度にはテトラクロロエチレンの使用を全廃。また、トルエンなど有機溶剤の排出削減にも努めており、今後も継続的に取り組みを推進していきます。

■2000年度に年間1t以上排出したPRTR対象物質 (事業所別の割合)

